

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、2週間以内に必ずご提出ください)

2025 年 11 月 5 日	
所属部局・学年	野生動物研究センター
氏 名	後藤優佳

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
熊本県宇城市
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
動物福祉実習
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
2025 年 10 月 20 日 ~ 2025 年 10 月 23 日 (4 日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
京都大学野生動物研究センター平田聡教授、熊本サルクチュアリ
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。 飼育下の動物における動物福祉の向上を目的として、環境エンリッチメントや採食エンリッチメントなどの実践的取り組みを学ぶとともに、それらの効果を評価するために必要な行動観察法や比較認知科学的手法を、実習を通して習得することを目的とした。 ◆ スケジュール 11/20 施設見学、買い出し 11/21 竹を伐採し、採食エンリッチメント用の道具を作成してボノボのケージに設置 11/22 チンパンジーの定期検診を観察。採食エンリッチメント用の道具をチンパンジーケージに設置 11/23 掃除、帰宅 ◆ 1 日目 熊本サルクチュアリに到着後、飼育されているチンパンジーとボノボを見学した。私にとって熊本サルクチュアリを訪れるのは初めてであり、すべてが新鮮な体験であった。特に印象的だったのは、チンパンジーが柵を揺らして大きな音を立てたり、口に含んだ水を人にかけてようとしたりする行動である。これらは、私がこれまで動物園で見てきた、人間に対してほとんど無関心な個体の様子とは大きく異なっていた。平田教授によると、人間に育てられたチンパンジーは人間に対して威嚇行動を示すことが多いという。幼少期の飼育環境が、その後の長期間にわたって行動に影響を及ぼすことを、改めて実感した。 ボノボも人間に近づいて威嚇する場面が見られたが、それだけでなく、手や木の枝を差し出すといった行動も観察された。その行動の真意は私にはわからなかったが、単なる威嚇ではなく、人間との相互的なコミュニケーションを試みているようにも感じられた。さらに、ボノボの中には体毛が少ない個体があり、これは毛繕いの際に毛を抜いてしまうためであり、順位の高い個体ほど体毛が少ない傾向があるとのことだった。 ◆ 2 日目 次の日は、採食エンリッチメントに用いる小道具を作成するために竹林に行って竹を伐採し、穴を開けて加工した。竹を切るのは人生で初めての経験であり、想像以上に力のいる作業だった。伐採した竹を短く切り分け、2 種類の小道具を製作した。 1 つ目は、竹の側面に穴を開け、中に大豆と蜂蜜を入れたシンプルな構造である。中の大豆を取り出すには竹を振る必要があり、採食行動に試行錯誤の要素を加えることができる。2 つ目は、竹の上下の節および側面に大きめの穴を開け、その内部にピーナッツを入れるものであった。設計意図としては、上部の穴から木の棒を挿し入れ、中をかき混ぜることで下部の穴からピーナッツが落ちてくる仕組みである。しかし、実際にボノボのケージに設置してみたところ、誰も木の棒を使わず、下の穴か

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、2週間以内に必ずご提出ください)

ら指を差し入れたり、竹を上下に振ったりしていた。それでも、偶然ピーナッツが落ちてくることもあり、採食における試行錯誤を促すという目的は十分に達成されていたと考えられる。

◆ 3日目

この日の午前中にちょうどチンパンジーの定期検診があり、見学させていただけることになった。チンパンジーは検診中に大人しくしてくれないので、麻酔を打って鎮静させる必要があるが、その作業だけでもかなり大変そうだった。また、麻酔をかけられていても、完全に意識がないわけではなく、朦朧としつつも体は動かせることに驚いた。検診中は全てのスタッフがテキパキと行動していて、スタッフ同士も連携が取れていてすごいと感じた。

午後はチンパンジーの採食エンリッチメントを行った。しかし、ボノボと違いケージが屋外にあることや、木が茂っていて中が見にくいこと、さらに途中から雨が降ってきたことも相まって、十分な観察を行うことができなかった。しかし、飼育員さん曰く、嬉しそうな鳴き声を出していたとのことなので、喜んでもらえたらいい。



採食エンリッチメントの道具を製作している様子



ピーナッツと大豆を出そうとしている様子



定期検診を受けるチンパンジー

※この実習報告書は提出前に担当教員（引率教員がいる実習は引率教員が、いない場合は指導教員）のチェックを受けてください。

6. その他（特記事項など）

実習を受け入れて下さった熊本サンクチュアリの皆様、実習の引率、指導をしてくださった平田先生に深く感謝申し上げます。